

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	広域観光推進事業			事業コード	1296
担当課等	所属名	商工観光部 観光課	担当係名		
	課長名	村山悦男	担当者名	高橋 元一	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	地域資源をいかした観光・物産の振興	コード 4
	基本事業	観光地づくりと観光客の誘致	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 7款 1項 3目 広域観光推進事業(005-01) 一般会計 7款 1項 3目 盛岡広域観光圏推進協議会 事業(005-02)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 昭和36年度～)		
事務事業の概要	盛岡市周辺の広域観光を推進するため、各種広域連携事業の展開及び関係団体への支援・援助を行う					
根拠法令等	なし					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
八幡平国立公園や外山早坂高原県立自然公園の健全な発展を図り、地域の観光産業の振興に寄与する目的で開始。盛岡広域圏8市町村と宮古市、岩泉町、秋田県鹿角市、小坂町による広域観光圏の魅力増進と滞在型観光の促進に向けて平成22年2月、盛岡・八幡平広域観光推進協議会が設立された。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
市民、観光関連事業者、議会からの積極的な事業展開を期待されている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
東日本大震災や景気の低迷等により、観光客の入込数が減少している。また、厳しい財政状況により負担金の削減が考えられるため、広域団体との連携を強化し、効率的かつ積極的な観光客誘致が求められている。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	外山早坂高原県立自然公園協会などの広域観光団体	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 広域観光団体数	単位	団体
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 盛岡市周辺の広域観光を推進するため、各種広域連携事業の展開及び関係団体へ支援・援助を行った。 ・観光パンフレットの作成。 ・キャンペーンの実施、参加。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 盛岡市周辺の広域観光を推進するため、各種広域連携事業の展開及び関係団体へ支援・援助など。 ・観光パンフレットの作成。 ・キャンペーンの実施、参加。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 広域観光団体への助成件数	単位	件
				B. パンフレットの作成	単位	部
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	観光客を確保する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 市内への観光客入り込み数 【指標の性格: <input checked="" type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	万人回
				B. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
				C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図、上位の基本事業にどのように貢献するか)	訪れてみたいと思ってもらう	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	アンケート調査「盛岡に行って見たい、訪れてみたい」と思う割合(単位: %)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	広域観光団体数	団体	4	5	5	5	5	5	26年度 5
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	広域観光団体への助成件数	件	4	4	5	5	5	5	26年度 5
活動 指標B	パンフレットの作成	部	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	26年度 6,000
活動 指標C									年度
成果 指標A	市内への観光客入り込み数	万人回	472	459	466	444	472	478	26年度 490
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	2,131	2,331	7,331	7,331	7,331	7,331	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	2,131	2,331	7,331	7,331	7,331	7,331	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	2,131	2,331	7,331	7,331	7,331	7,331	*****
	延べ業務時間数	時間							*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,131	2,331	7,331	7,331	7,331	7,331	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 広域的に行うことで観光客誘客に相乗効果が生まれると共に、効率的な事業展開が図られ、雇用拡大や物産品の販路拡大に貢献できる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 岩手県や広域市町村が協力・連携して事業を展開することにより、地域振興等を図っていくものである。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input checked="" type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 広域圏への観光客誘致のため、更に効率的な事業展開を図れるように整理していく余地がある。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 観光客の誘致を目的としており、妥当である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: その内容: 広域観光団体間の連携や行政と民間との協力体制の強化により、成果が向上する余地がある。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 広域観光振興を図るうえでの盛岡の拠点性を活かすことが出来ず、観光客誘客に影響が生じる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 盛岡市単独や広域観光団体が実施している誘客キャンペーン ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input checked="" type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない その内容: 盛岡市や広域観光団体で実施している事業と連携することにより、厚い事業展開も図ることが可能となる。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 広域観光団体との連携を図り、経費を分担することで、事業費の削減することが可能となる。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 広域観光団体の事務局を他市町村と分担することで削減が図られる。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 広域観光団体の会員は、観光客の増加により公平に受益機会が拡大する。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 観光客の増加により利益が上がる民間団体の費用負担を拡大することで適正化が図られる。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 広域観光団体の事務局の役割分担を行うことで、事務効率化を図る。 ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 広域観光団体の構成市町村の役割分担についての合意形成。地域、テーマ毎に設立された広域観光団体構成員の合意形成。
---------	---

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ② 有効性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり ③ 効率性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり	(2)全体総括(振り返り、反省点) 関係団体との連携強化を図り、テーマを明確にしたキャンペーン活動の推進に取り組んだ。
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	
	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	
		
	方向付けの理由と改革改善の内容 関係団体と十分な協議を行い、さらなる連携強化を図るとともに、適正な受益者負担のあり方を検討する。	